

## 学習のまとめ・修了進級にむけて③

2月に入り、学校を支えてくださる様々な方々による出前授業を実施したり、様々な方々に対して、子供たちがこれまでの学習の成果を発信したりする機会が多くなっています。

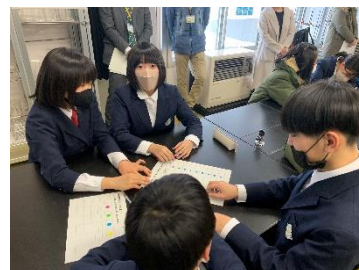
本校の特色ある取組が多く含まれていますので、できるだけたくさん紹介したいと思えます。

## 参観日・懇談会～6年生，5年生（2月14日・16日）



6年1組は、算数を実施しました。一見して、面積を求める公式が使えなさそうな図形について、どのように求めたらよいかを考えています。

6年2組は、理科の授業。身のまわりの液体について、「酸性・中性・アルカリ性」のいずれであるかを確認していました。仲間や先生と予想し合っ  
て楽しく学習しています。



5年生，算数の授業の様子です。何を手掛かりに図形を仲間分けしたらよいかについて、自分の考えを伝え合う姿が見られました。辺の長さや角の大きさを調べることは、これまでに学んだことの積み重ねですね。

参観日・懇談会も、20日（月）の2年生を残すのみとなりました。狭いスペースでの参観，保護者の皆様のご協力に感謝しております。引き続き、よろしくお願いいたします。



懇談会の様子です。

## 「進級を祝う会」に向けて

6年生とのお別れの日が、少しずつ近付いてきています。  
各学年、学年便り等でお知らせしている通り、

- 「6年生をどのように学校から送りだしたらよいか」
- 「6年生に、どんな気持ちを抱いてほしいか」
- 「自分たちが6年生に伝えたいことは何か」

について話し合い、取組のめあてを立てています。

しかし、6年生に対する思いや伝えたいこと、それをどのような方法で表現するかは、一人一人異なるはずです。

「みんな」で一つのめあてを共有するというプロセスは、「自分だったらこう関わってほしい」「自分だったらこんな方法でやってみたい」「自分はみんなの中で、こんな役割を果たせそうだな」など、むしろ「個々」「一人一人」が自信、やる気をもって取り組めるスタートラインに立つための営みとなっていなければなりません。

これは本校が大切にしている、一人一人の持ち味や個性が活かされ、尊重される学びの姿です。

「全員で取り組む」「全員でめあてをたてる」－私たち教師が、子供たちに対してよく口にする言葉ですが、「みんなが同じことをできるようにしなさい」「集団のために、個の思いや考えを遠慮しなさい」というふうに、伝わってしまっていないか・・・学年末のこの時期だからこそ、私たちも常に振り返り、集団の中に個が埋没することなく、一人一人が自分の関わり方や居場所を見つけて進級できるよう、子供たちを見守り支えていきたいと考えています。

写真は、5年生の「進級を祝う会」に向けた取組の様子です。

